



新春を迎えて

南富良野町長 池部 彰

平成二十三年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月に開催されたバンクーバー冬季オリンピックに本町出身の金村(旧姓目黒)萌絵さんが2大会連続出場され、本町住民はもとより多くの方々に感動と勇気を与えてくれました。現在は帰郷され、本町のスポーツ振興にご理解をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、国内の経済は依然として不況から回復できない状況にあり、昨年の政権交代で地域主権改革により地方の裁量権が確保される一方で、地方の責任は大きくなります。このような自治体を取り巻く環境の変化の中で、政策の「選択と集中」により健全な行政執行に努めさせていただきます。

その選択の中で、昨年は南富良野中学校の校舎の耐震化と、本町の基盤産業である林業の振興を図るため町内の公共施設では、はじめての導入となる木質ピンチップを燃料とする木質バイオマスボイラーを備えた校舎を新築し、南富良野町の次代を担う子ども達の学習環境の整備を進めさせていただきました。

また、情報格差の解消を図るために高速インターネットサービス利用地域拡大や、これまで歴代の首長の積年の懸案事項でありましたテレビ放送の難

視聴地域の解消のための通信施設の整備を行ってまいりました。

農業を取り巻く情勢は、天候の不順や生産資材の高騰、野菜の生産価格割れ、生産者の高齢化や後継者問題、PPP交渉への参加表明など国の農業政策の変更により、極めて難しい課題を抱えています。農業を基幹産業とする本町にとりまして、農業の安定と振興は本町の生命線でありますことから、引き続き農業発展に努めてまいります。

昨今の経済情勢において、本町での少子高齢化による購買力の減少や流出、低価格競争など事業者の方々においては、たいへん厳しい経営環境であることから商工会からの要請を受け、年末に発行した「プレミアム付商品券」の支援を行いました。「なんぶニコニコポイントカード」の利用も含めて地元で消費する「地消」に対し、深いご理解とご支援を心からお願ひ申し上げます。

地域福祉につきましては、町営で運営してまいりました特別養護老人ホーム「一味園」を、サービスの向上と法人経営の安定化を図るため、昨年4月より大乗会に移管させていただきました。利用者のニーズにあったより一層のサービス向上が期待される場所であります。

いずれにいたしましても、町政の持続性を高めまちづくりを進めていくためには、町民皆様のご理解とご協力による「参画」と「協働」が必要不可欠

であります。

これからの自治体は、私はもとより、地域自らの責任と判断で、人的・物的などあらゆる資源を最大限に活用し、「依存」から「自立」へ、シフトしていかなければ、生き残っていけない環境が形成されつつあります。そのためには、住民と行政がパートナーシップを深め、太い信頼の絆のもとで、地方自治の原点であります「自助・共助・公助」の補完体制を強め、住民と行政が一体となって知恵を絞り、共に汗を流す仕組みを作り上げ、まちづくりを進めていかなければなりません。

昨年「協働のまちづくり推進塾」より、今後の町内会と行政が協力連携していく協働のまちづくりについて答申をいただきました。今後まちづくりを推進するために町内会と行政との連携をさらに密にする中で、「町民参加のまちづくり」の発展に努め、これまで以上の「行政とのパートナーシップ」を町民皆様にお願ひ申し上げますのでございます。

平成二十三年につきましても、町民の皆様と意識を共有して、持続する「南富良野町」の建設に向けて、町職員一丸となり、本町のまちづくりに最大限の努力を傾注させていただくことを申し上げ、町民皆様のご健康とご多幸をご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年 元旦

年頭にあたって

南富良野町議会議長 佐々木 薫

町民の皆様には、希望に満ちた平成二十三年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内情勢は、四月に宮崎県で発生した口蹄疫の問題では、三十万頭近くの牛や豚が犠牲となり、鹿が多数生息する本町でも、畜産農家では感染防止対策を行ったところであります。また、十月には、たばこ税が過去最大の大幅な引き上げとなり、町の税収にも影響がでたのではないのでしょうか。

道内では、札幌市の認知症グループホームで火災が発生し高齢者が死亡、日高山系ヌカピラ岳で登山客の遭難、八月には道内全域が大雨に見舞われ死者が発生するなど、暗いニュースが多い一年でありました。

そんな中で、バンクーバー冬季オリンピック女子カーリング競技に、日本代表のスキップとして、落合出身の金村(旧姓目黒)萌絵さんが出場し、健闘及ばず八位ではありましたが、私たち町民に夢と感動を与えてくれたことは明るい話題でありました。

本町においては、大きな災害もなく平穏な一年であったと思います。そうした状況の中で基幹産業を見て

みますと、農業については、昨年は四月の低温で融雪が遅れ、五月上旬の断続的な降雨により、植え付けや播種作業の大幅な遅れは、六月から七月上旬の生育期間は高温で推移し適度な降雨もあつたことから生育の遅れを取り戻しました。八月に史上最高を観測する猛暑となり、更に断続的な降雨によって、作物に病害虫が発生、冠水した圃場では腐敗の発生も見受けられ、農作物全体が天候不順の影響を受け、作柄は平年を大きく下回ることでかなり厳しい状況となりました。

林業については、依然として厳しい状況であり、林業労働者の減少や高齢化による林業担い手対策については深刻化しています。昨年改築された南富良野中学校やログホテルラチで使用する熱源として、木質チップボイラーが導入され、今後の林業振興に大きく期待できるものと思います。

商工業については、国の公共事業のさらなる削減などにより、建設業者の方々は特に厳しい状況にあると思います。また、商店を経営している方々も、経済不況による購買力の低下、消費者の町外流出など大変厳しい状況が続いています。商工会ではこの対策として、町内商店の販売促進を図るためポイントカード事業を継続して実施しているところであり、昨年暮れに行った

プレミアム商品券の販売についても、町内の消費拡大と購買促進に大きな効果があつたものと思っています。

このように厳しい町内経済が続いている中で、ふらの農業協同組合のポテトチップス製造工場が本格稼働し一年を経過しましたが、今後の農業経営基盤の強化と新たな雇用の場の確保による地域経済の活力の拠点として、大きな期待が寄せられているところです。

また、昨年四月に民間の能力を活用するため、大乗会に経営移譲された「一味園」は「ふくしあ」と一体的に運営され、利用者のニーズに合ったサービスの向上が図られたと思っております。

私たち九名の議員は、四月に改選期を迎えますが、日本ハムファイターズに「ハンカチ王子」が入団したように、八名のフレッシュなメンバーで、町民皆様の意向を十分くみ取り、町民の代表として総力を挙げて取り組んで参りますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

新年がスタートしましたが、町民の皆様が益々のご健康とご多幸を願ひ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年 元旦

